特集 みはらっせ

狛犬巡礼

みはらっせ狛犬研究会編

「あの神社の狛犬は
どんなだったかな？」
大半の人がそんな感じだろう。
狛犬はどれも同じ？
そんなことはありません！
石工の数だけ多種多様な「狛犬」。
人間のような表情に、
技を駆使して彫った芸術作品まで…
実は奥深き造形物なのです。
多方面から文化の影響を受けた
三原と世羅は、狛犬巡りには
絶好のエリア。
さあ、巡礼の始まりです。

＼あ／

＼うん／

迎えてくれる狛犬の表情が見えるまで胸が高鳴る。写真は世羅町伊尾の大山神社。石積みの上にある社殿はまるで城のようだ。

狛犬巡礼指南

「狛犬（こまいぬ）」とは、魔よけとして神社の入り口に左右一対で置かれている空想上の守護獣像。阿像（あぞう・口が開いている）、吽像（うんぞう・口が閉じている）と呼ばれ、ご存知「あ、うん」の像だ。

持ち物は子どもや玉・鈴など。素材も石や木・焼物など様々

狛犬スタイル

まずは、わかりやすい姿勢から分類してみよう！

玉のり型

玉に前脚を乗せた狛犬。
広島から九州にかけて多く見られるそう。
みはらっせエリアでは
尾道の石工作が多い。

鞆張八幡神社（世羅）の雄叫び狛犬

おすわり型

まさに犬のおすわり。
尻尾がピンっと立っているのが代表的。

まるでスフィンクスのよう
亀山神社（佐木島）の狛犬

子連れ型

その名の通り、子どもを
連れた狛犬。前足で子どもを
押さえつけている狛犬も。

おんぶ狛犬がいた、
本郷の恵美須神社

かまえ型

ネコの背伸びのような
愛らしい姿勢。尻尾の曲線が
筆のようで立派だ。

御調八幡宮（三原）本殿の狛犬は焼き物だった

玉持ち型

玉に乗っかっているのではなく、
玉（鞠？）を持っている狛犬。

蹴鞠狛犬・丹生神社（世羅）

お願いと
お断り

※神社は観光地ではありません。
マナーを守って巡礼しましょう。
※名前に関しては編集者が独断と
感性でつけています。

のっかり型

取材中にみつけた変り種。
高いところにいるプチ狛犬。

見上げれば石柱の上に狛犬が。
世羅町川尻の聖神社にて